



2024年12月20日

三島信用金庫

大静高压株式会社との「さんしんサステナビリティ・リンク・ローン」 による融資契約締結について

三島信用金庫（理事長 高嶋正芳）では、持続可能な経済活動の促進を資金面でサポートするため、令和6年3月より「さんしんサステナビリティ・リンク・ローン（以下、さんしん SLL）」の取り扱いを開始しました。

この度以下の事業者様と、さんしん SLL による融資契約を締結しましたので、お知らせいたします。

1. 事業者概要・さんしん SLL 実施内容

| | |
|------|-------------------|
| 契約日 | 令和6年12月13日 |
| 事業者名 | 大静高压株式会社 |
| 所在地 | 静岡県駿東郡長泉町本宿 291-1 |
| 業種 | 高压ガス容器耐压検査業 |
| 融資金額 | 50,000,000 円 |
| 融資期間 | 7 年 |
| KPI | CO2 排出量の削減 |

2. さんしん SLL について

サステナビリティ・リンク・ローンとは、借り手が野心的なサステナビリティ・パフォーマンス・ターゲット（SPTs）を達成することを奨励するローンです。

具体的には①借り手の包括的な社会的責任に係る戦略で掲げられたサステナビリティ目標と SPTs との関係が整理され、②事前に定められた重要業績評価指標（KPI）で測定される適切な SPTs によってサステナビリティの改善度合を評価・測定し、③それらに関する融資後のレポートを通じ透明性が確保されたローンです。すなわち KPI は目標の達成状況を測るための指標であり、SPTs はその指標において達成すべき水準を意味します。

さんしん SLL では、様々なサステナビリティ目標の中から、達成すべき目標を CO2（二酸化炭素）排出量に絞り、カーボンニュートラルに取り組む地域中小企業を資金調達面とカーボンニュートラルに向けた助言支援をするものです。

三島信用金庫では、さんしん SLL をはじめとした様々な取り組みにより、地域全体の脱炭素化に貢献してまいります。


以上

【本件に関するお問い合わせ】

元気創造部 地域未来創造課

T E L : 055-973-5730





参考資料

◆大静高圧株式会社について

昭和 41 年（1966 年）7 月に LP ガス容器再検査所として設立。常に改善を心掛け、技術や知識の向上に努めており、いち早く環境の変化やニーズに対応できるようハードとソフトの両面を見つめ、省力化を推進している。

当社は既に積極的に脱炭素の取り組んでおり、KPI として定めた Scope2 の削減率は 2030 年度に 2019 年度比 46.1%削減する目標を掲げており、日本政府における 2050 年にカーボンニュートラルを目指すうえでの中間目標と整合している。

当社は、業務上 LP ガス容器などの耐圧検査を行う際に回収する残余ガスを電力用燃料に用いている。それでも余るガスはコインランドリーやクロワッサン専門店への利用をしている。

脱炭素社会の実現に向けた取り組みとして、社用車で水素燃料電池自動車（トヨタ M I R A I）の導入やエネルギー効率の向上や温室効果ガスの排出削減に向け、運用での改善や省エネ機器の導入や J クレジット購入によるオフセットも視野に入れて、今後も今以上に環境への配慮を念頭において取り組んでいく。

<https://taiseikoatsu.co.jp/>

◆カーボンニュートラルについて

2020 年 10 月、日本政府は 2050 年までに温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする、カーボンニュートラルを目指すことを宣言。

「排出を全体としてゼロ」というのは、二酸化炭素をはじめとする温室効果ガスの「排出量」から、植林、森林管理などによる「吸収量」を差し引いて、合計を実質的にゼロにすることを意味している。地球規模の課題である気候変動問題の解決に向けて、2015 年にパリ協定が採択され、世界共通の長期目標として、「世界的な平均気温上昇を工業化以前に比べて、2℃より十分低く保つとともに（2℃目標）、1.5℃に抑える努力を追求すること（1.5℃目標）」

「今世紀後半に温室効果ガスの人為的な発生源による排出量と吸収源による除去量との間の均衡を達成すること」等に合意している。

この実現に向けて、世界が取組を進めており、120 以上の国と地域が「2050 年カーボンニュートラル」という目標を掲げている。